

## ジュニアB、女子は佐藤、男子は椿が優勝

2007NTTTライアスロンジャパンカップ第8戦・2007第9回日本ジュニア選手権長良川大会速報

### ジュニアA優勝は女子地原、男子土井

8月5日(日)、岐阜県海津市の木曾三川公園特設コースで、2007NTTTライアスロンジャパンカップ第8戦・2007第9回日本ジュニアトライアスロン選手権長良川大会が開催された。競技は中学生(A)と高校生以上～20歳未満(B)に分け、それぞれスーパースプリントディスタンス、スプリントディスタンスで行われた。

午前8時ちょうどにスタートしたジュニアA男子は、大島駿平(パッシュジュニア)がスイムで飛び出し、バイクへ向かう。大島はトップをキープしたままバイクを終え、ランへ移ったが、2位との差はわずかに数秒。中盤からは土井政英(カミハギサイクル)、小林晃久(福知山スイミングスクール)らに追い上げられ、結局土井が1位でフィニッシュした。

男子の直後、午前8時2分にスタートしたジュニアA女子は、スイムからラン終了まで福田慶(日本大学豊山女子中学)がトップをキープし続けたが、ランで地原菜津美(パッシュジュニア)、知花果林(チームゴーヤー)らが猛追。徐々に差を広げられ、最後は地原が後続を引き離してトップで終了した。

午前8時30分スタートのジュニアB男子は、工藤駿(パッシュ)、久保埜一輝(チームテイケイジュニア)がほぼ同順位でスイムからランへ。しかし、バイクで現在JTUジュニアランキング男子1位の宇都宮涼太(ウイングス



スイムの舞台は長良川。ジュニアB女子のスタート

椿 浩平  
(チームテイケイジュニア)



とりあえず、今回は優勝することができて本当に本当にうれしい。今日のレースは、自分が事前に考えていた通りの展開に進められたのでとても良かった。次の目標は世界選手権。出場するには、ぜひ表彰台に上がりたい。

佐藤 優香  
(日本橋女学館高等学校)



バイクの最周回であとから追いかけてきた第2集団に吸収されてしまい、今日は焦りの出たレースだった。それでも優勝することができて良かった。これからの目標は、今年は無理だとは思っているけれど、日本選手権に出場すること。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



## ジュニアB、女子は佐藤、男子は椿が優勝

2007NTTトライアスロンジャパンカップ第8戦・2007第9回日本ジュニア選手権長良川大会速報

TC)、今年がジュニア最後の年となる古川哲也(チームゴーヤー)や椿浩平(チームテイケイジュニア)、岡野祐作(三好スイミングアカデミー)らが追い上げ、そのまま8名の選手で第1集団が形成された。

第1集団の選手がほぼ横並びの状態スタートしたランでは、徐々に気温が上がってきたことも原因となり、選手たちは徐々に体力を消耗していく。最後は多くの選手がスピードを落とすなか、ペースを保ち続けた椿が1位で終了。宇都宮は2位で終えた。

午前9時10分スタートのジュニアB女子は、JTUジュニアランキング女子1位の佐藤優香(日本橋女学館高等学校)が1位でスイムを終え、バイクに移る。序盤からトップをキープすると、徐々に他の選手との差が広がり、前半はほぼ独走状態に。ところが、このままランまでトップを走るかと思われた矢先、ランを目前にして後退。男子の古川同様、今年でジュニアを終える蔵本葵(東京ヴェルディ)や平出美雨(チームゴーヤー)、山本奈央(愛知県立西尾高校)らで形成されていた第2集団に吸い込まれ、そのままバイクフィニッシュ。

わずかな差ながら山本がトップでランへと向かうが、ランを得意とする佐藤がそのあとを追いかける。蔵本がその後ろにつくが、最後まで追い抜くことができず、佐藤が1位、蔵本が2位で終了。

なおレースの様子は、フォトギャラリーでご覧になれます。



接戦となったジュニアB男子のバイク

土井 政英  
(カミハギサイクル)



バイクは自分の考えていたレース展開にすることができなかったけれど、ランで追い上げられたのでよかったと思う。来年はジュニアBのカテゴリーに上がるので、そこで上位に食い込めるようなレースができる選手になりたい。

地原 菜津美  
(バッシュジュニア)



まさか優勝することができるとは思っていなかったの、自分でもびっくりしている。スイムでもっと上位につく予定だったが、バイクでそれほど落ちずにランにつなげることができてよかった。来年も出場して、また優勝したい。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

